

PowerRay クイックスタートガイド

PowerVision

PowerRayについて

PowerRayを知る 1-4

本体
ベースステーション

コントローラーを知る 5-6

魚群探知設備を知る 7-9

魚群探知機
リールセット

PowerRayの製品仕様について 10

航行準備

充電残量のチェック及び充電 11-15

充電残量のチェック
充電

PowerRayの準備 16-17

コントローラの準備 18

APPの準備 19-20

VRの準備 21-22

航行と安全

航行と撮影 23-26

スタンダードコントローラによる航行と撮影
APPによる航行と撮影

魚群探知 27

航行安全 28

PowerRayについて

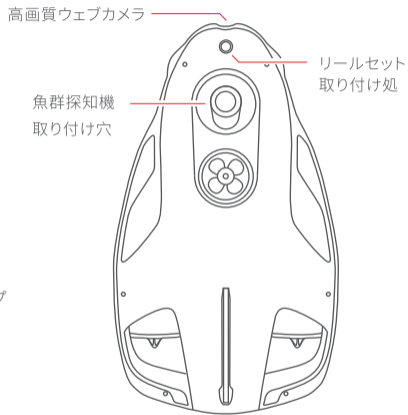
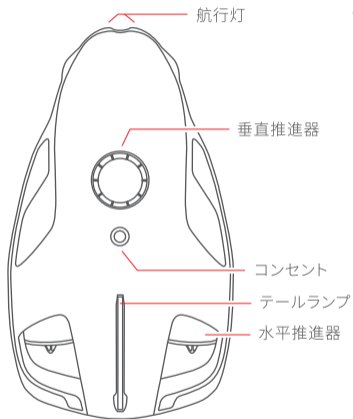
PowerRayを知る

• PowerRay本体

PowerRayは水中30mの淡水や海水に使っていただけます。深度設定や水中での指向性がある航行をサポートします。水中でも撮影、魚群探知^①、釣りの補助ができ、VRメガネ^②、コントローラー、APP端末による操縦及び即時画像プレビューもできます。4K超高画質カメラ搭載し、1200万画素数の静止画と4K超高画質動画撮影を実現しました。

① 魚群探知機と釣り補助機能搭載は魚群探知版、ウィザード版のみです。

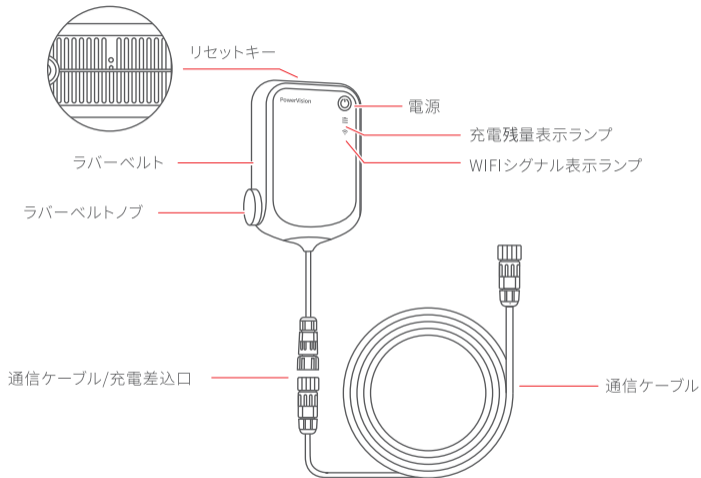
② VRメガネ搭載はウィザード版のみです。



PowerRayを知る

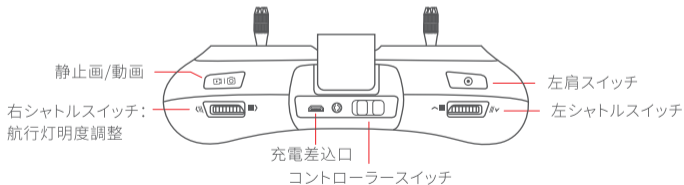
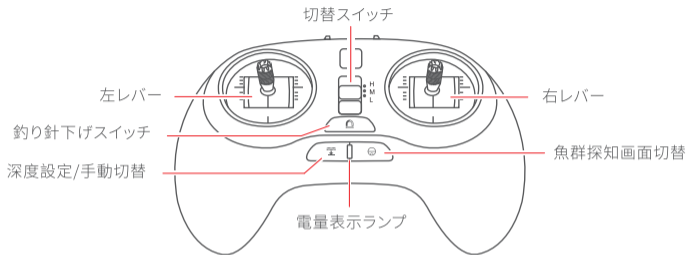
ベースステーション

- ベースステーションは通信ケーブルによって本体と接続、コントローラーやスマートフォンやVRメガネはベースステーションのWIFIホットスポットを通し接続できます。接続後、PowerRayのボディとカメラを操縦し、即時に画像の伝送もできます。
- ベースステーションは3000mAhのバッテリーを組み込み、持続時間が3時間にも達し、電量表示ランプによって現在の充電残量を確認できます。
- 付属のラバーベルトでベースステーションを固定することができます。



コントローラーを知る

- PowerRayのコントローラーは無線RANでベースステーションと接続でき、移動制御、ライトコントロール、速度調節、撮影、釣り針下げ、深度設定制御など複数の機能を搭載しています。コントローラーの補助で簡単に操作できます。
- PowerRayコントローラーの充電電池は3000mAhの容量を持ち、持続時間が20時間ほどです。電量表示ランプで現在の充電残高をチェックできます。



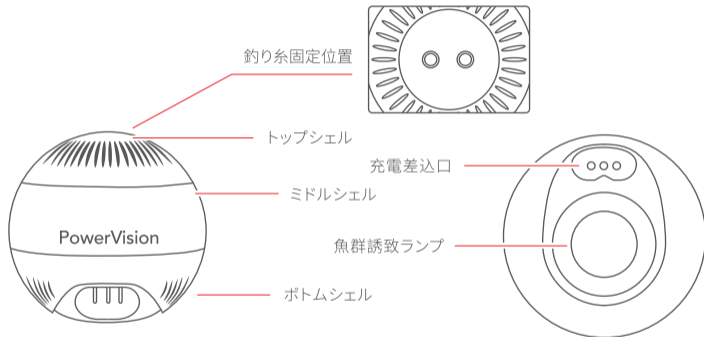
魚群探知設備を知る

魚群探知機 ★

- PowerRay魚群探知機は水中40m範囲以内の魚群の種類と地形情報を探検でき、またVision+によって即時に表示できます。
- 魚群探知機のベースプレートについた魚群誘致ランプが魚を引きつけます。
- 魚群探知機は外して単独で使用することができます。

★ 当該設備及び機能搭載は魚群探知版とウィザード版のみです。

魚群探知機 ★



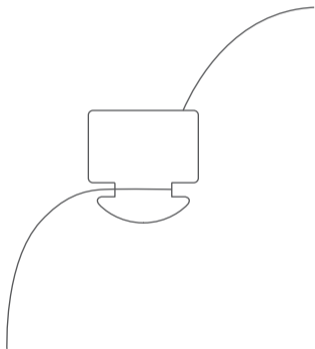
★ 当該設備及び機能搭載は魚群探知版とウィザード版のみです。

魚群探知設備を知る

リールセット ★

釣り糸をリールセットに固定し、コントローラーやVision+APPでPowerRayを操縦することによって、釣り針を設定された場所に送り出し、定点投入を実現します。

★ 当該設備及び機能搭載は魚群探知版とウィザード版のみです。



PowerRayの製品仕様を知る

APPをダウンロードし、PowerRayのレクチャービデオを観る

右側のQRコードをスキャン、またはAPPStoreでVision+APPをダウンロード、www.powervision.meでもレクチャービデオをご覧いただけます。



中国エリア



ヨーロッパ



北米

航行準備

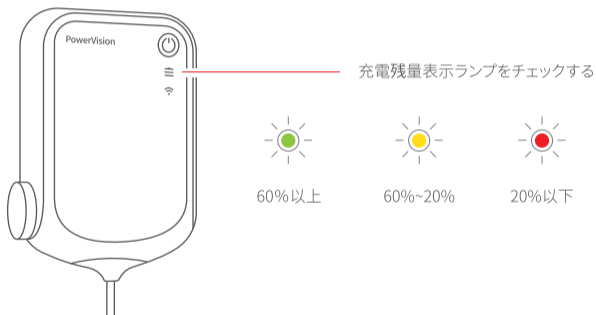
充電残量のチェック及び充電

- 充電残量のチェック — 本体

PowerRayの本体充電残量はVision+APP画面で読み込みことができます。



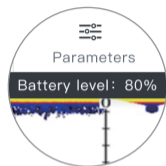
• 充電残量のチェック — ベースステーション



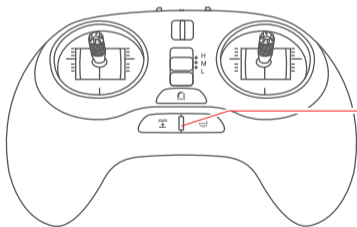
● 充電残量のチェック — 魚群探知機

充電差込口が水に触れたら、自動的に電源が入り、水から離れて1分後に自動的に電源オフになります。

Vision+によって魚群探知機充電残量を読み込みできます。



● 充電残量のチェック — コントローラー



充電残量表示ランプ



30%以上



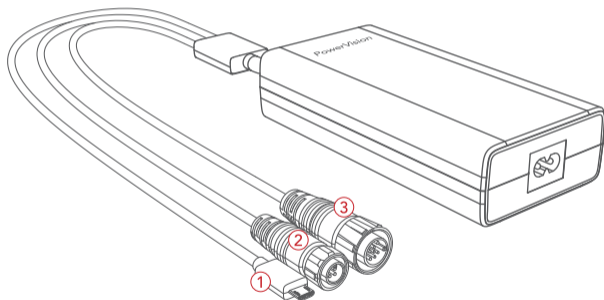
30%~10%



10%以下

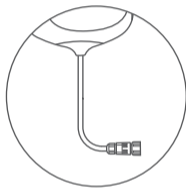
• 充電

充電器はPowerRayの本体、コントローラー、ベースステーションを同時に充電できます。

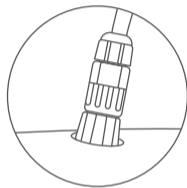




- ① コントローラー
3.5時間フル充電



- ② ベースステーション
2.5時間フル充電

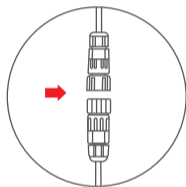


- ③ PowerRay本体
2.5時間フル充電

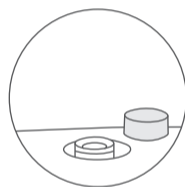
• PowerRayの準備



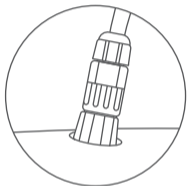
1. ベースステーションの電源を入れ、起動させます。



2. 通信ケーブルの片側をベースステーションのコンセントに差込、接続口をしっかり閉じます。



3. PowerRay本体コンセントの安全カバーを開きます。(ご使用后、プラグをきれいに拭き、乾燥状態を保ちます。)



4. 通信ケーブルのプラグを本体のコンセントに挿し込み、接続口をしっかりと閉じます。本体が自動的に起動します。

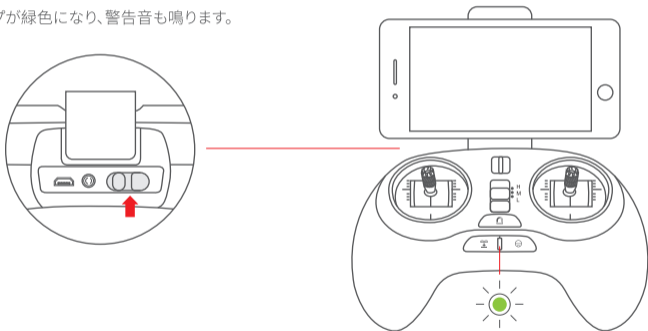


5. スマートフォンまたは他の移動設備で無線RANに接続します。PRA_Station_xxxというウェブサイト接続し、接続暗証番号は1234567890となります。

• コントローラーの準備

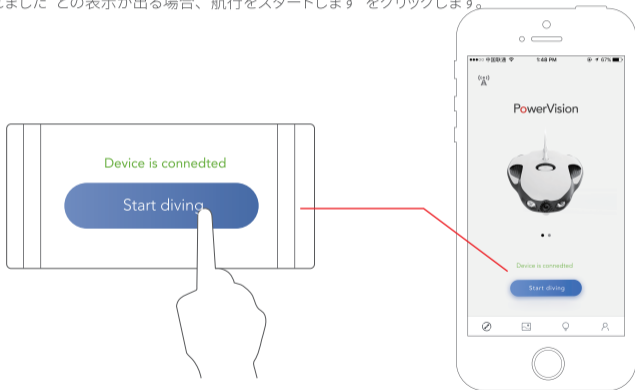
スマートフォンやタッチパネルコンピューターはクリップでコントローラーに取り付けることができます。

コントローラーの電源を入れたら、適合のベースステーションを自動的に探し、また接続します。その時、表示ランプが緑色になり、警告音も鳴ります。



• APPの準備

ベースステーションWIFIとの接続を確認し、Vision+APPを開き、PowerRay製品へ切り替えます。“設備が接続されました”との表示が出る場合、“航行をスタートします”をクリックします。



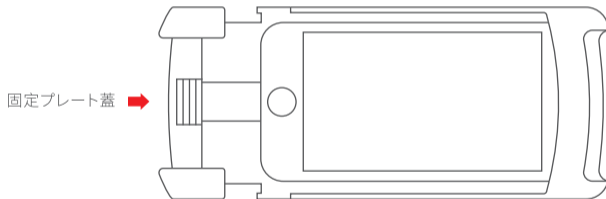


“Vision+” APP画面機能について

VRの準備 ★

Vision+APP画面をVRモードに切り替え、プロンプトメッセージに従いスマートフォンをVRメガネに挿し込みます。

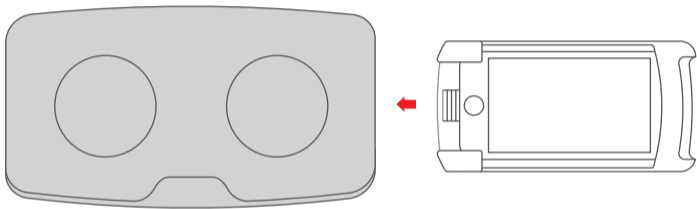
1. スマートフォンを固定プレートに入れてから、蓋を押して閉じます。



★ 当該設備及び機能搭載はウィザード版のみです。

VRの準備 ★

2. 固定プレートの蓋をVRメガネに挿し込みます。



3. VRヘッドコントロール機能

ヘッドコントロール機能の起動: コントローラーの左肩スイッチを押したら、上下左右にVRメガネを動かせば、上昇、下降、左折、右折の機能を起動します。スイッチを放したら、VRメガネを動かしても反応がありません。

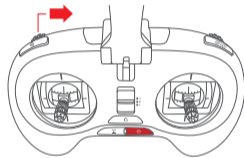
★ 当該設備及び機能搭載はウィザード版のみです。

航行と安全

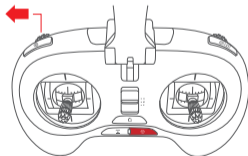
航行と撮影

操作ミスによる人身傷害や設備損害を防ぐため、ロックオフを先にする必要があります。その後、レバーによる推進器の操縦ができます。ロックオンの場合は推進器を操縦できません。

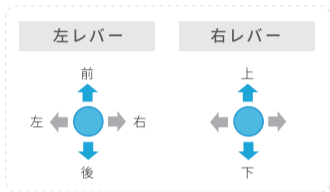
-ロックオン:左ローラーを一番右まで回し、ウェブカメラ/魚群探知機画面切替スイッチを一秒ほど押し、振動したらロックがかかります。ロックオンになった場合、レバーを操縦しても、推進器が反応しません。



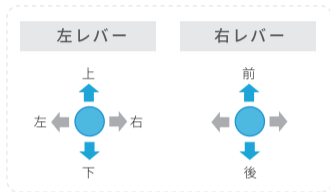
-ロックオフ:左ローラーを一番左まで回し、ウェブカメラ/魚群探知機画面切替スイッチを一秒ほど押し、振動したらロックオフになります。ロックオフになった場合、レバーの操縦によって推進器をコントロールできます。



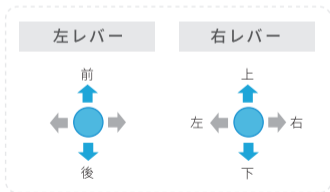
PowerRayコントローラーレバー操縦モードは四つに分けます。APPIによって、自分に向いているモードを選択できます。



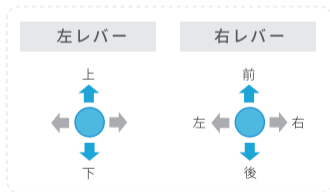
MODE1



MODE2



MODE3

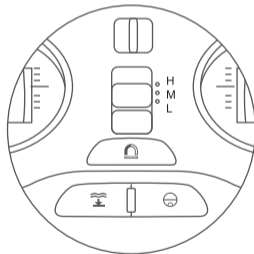


MODE4

• スタンダードコントローラーの制御による航行と撮影

コントローラーの出荷時レバーモードはMODE4となります。左レバーは本体の上昇/下降と左折/右折を、右レバーは本体の前進/後退を制御します。

航行モードの選択:真ん中にある切替スイッチによって操作できます。



● APPの制御による航行と撮影

APPにおいて初期規定値のレバーモードはMODE4となります。左レバーは本体の上昇/下降を、右レバーは本体の前進/後退と左折/右折を制御します。

1. ロックオフ及び航行モードの選択:

APPの場合はロックオンスライドボタンを右へスライドすれば、ロックオフになります。画面の下側にある切替ボタンで切替操作ができます。


2. 出荷時の初期設定値はMODE4となります。左レバーは本体の上昇/下降をと左折/右折、右レバーは本体の前進/後退と左折/右を制御します。

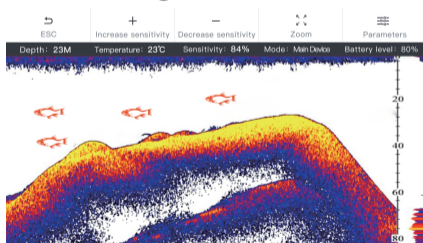
3. ロックオン:

操作ミスを防ぐため、ロックオンにする必要がある場合はAPPのメイン画面の右上にあるロックオンボタンをクリックすれば、ロックオンスライドボタンが出てきたら、右へスライドしロックオンとなります。



魚群探知

1. 魚群探知機は通信ケーブルを本体に挿し込む前に、本体に取り付けます。
2. 本体の電源を入れてから、本体を水中に置き、魚群探知機の魚群誘致ランプが点灯したら起動となります。
3. 魚群探知機は自ら本体と接続します。単独でご使用になる場合は、スマートフォンで魚群探知機のWIFI“PSE_xxx”と接続します。暗証番号は。
4. PowerRayAPPで“”ボタンを押し、魚群探知画面を切替できます。



感度の調整によって、表示効果を調整できます。設定の中で、魚群情報を開き、魚群の場所などが一見でわかります。

航行安全



広い水域で航行



目視範囲内で航行



航行深度が30m未満



本体が待機状態において、電量節約のためベースステーションを閉じることができる



水草などの水中障害物を避ける



ご使用になる前ベースステーションを固定する



ベースステーションが水に接触しないようにする



水中で通信ケーブルを長時間に引かないようにする



高いところから水中へ投げ出してはいけない



高温環境に置いてはいけない



プロペラが空気状態で回してはいけない



人身傷害や設備損害を防ぐため、回転中のプロペラを触ってはいけない

PowerVision
www.powervision.me